

令和5年度 支部保険者機能強化予算（案）について

ご審議・ご意見いただきたい事項

このたび、本部へ提出しました予算案について、令和5年度福島支部の事業計画（資料3-1）と照らし合わせてご意見等をいただきたいと存じます。

令和5年度 支部事業計画・予算策定に関する全体スケジュール

第2回評議会 10月

来年度事業計画・
予算策定に向け、
評議員の皆様の
意見ヒアリング

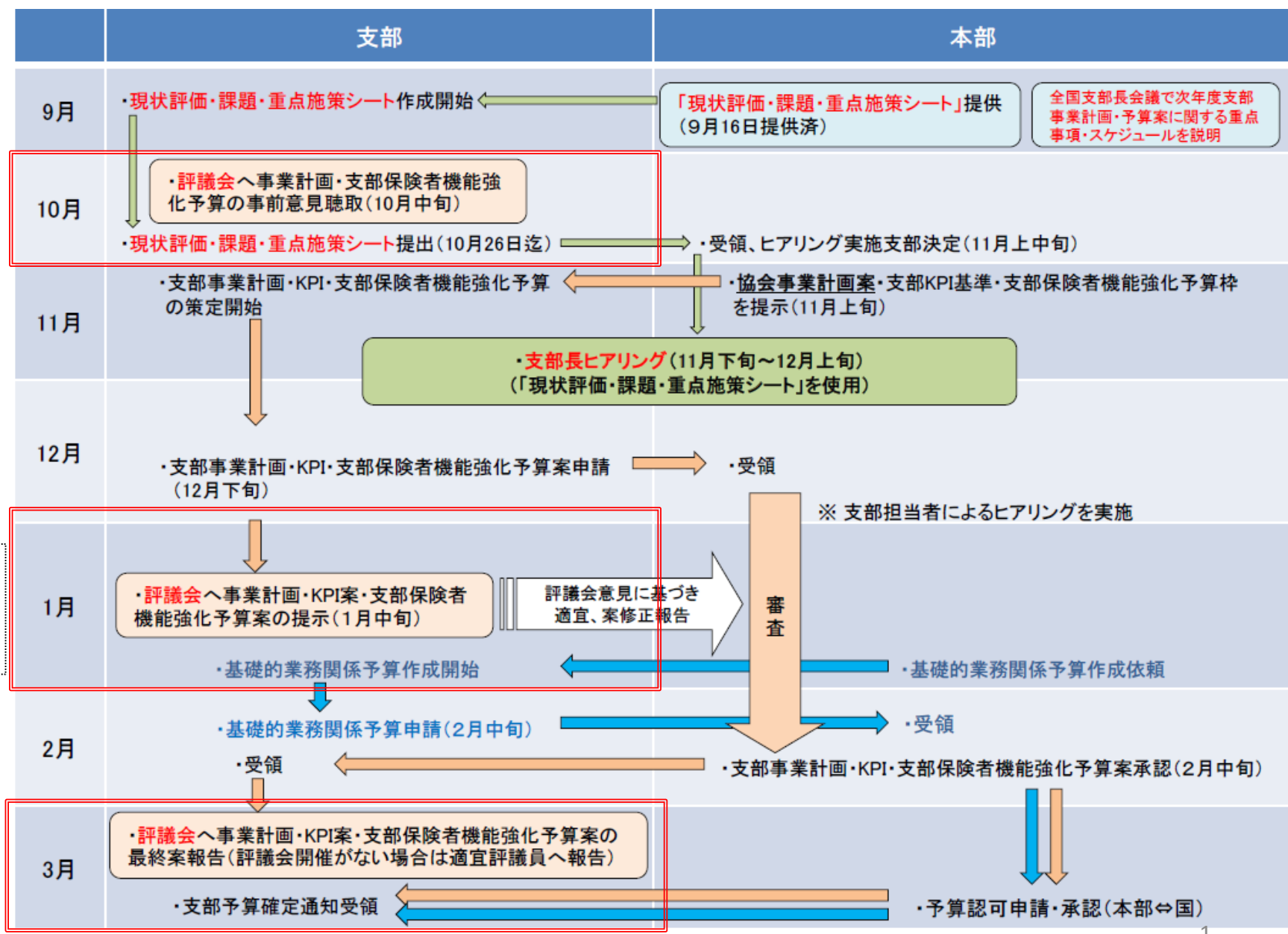
支部にて
事業計画・予算
策定

第3回評議会 1月

策定した事業計画案・
予算案を評議会提示
ご意見に応じて
適宜修正

第4回評議会 3月

最終報告

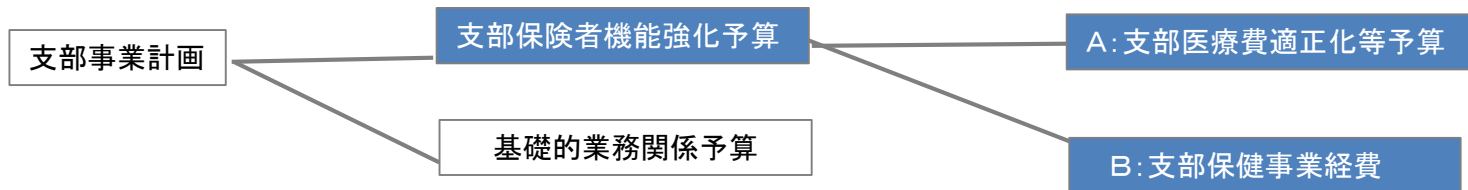


保険者機能強化予算とは

支部保険者機能強化予算とは

協会けんぽの将来的な医療費の削減につなげていくことを目的に、各支部で地域の実情に応じた医療費適正化（医療費の伸びの抑制）や健康づくりなど、保険者としての機能を強化する取り組みを実施するために計上する経費のこと

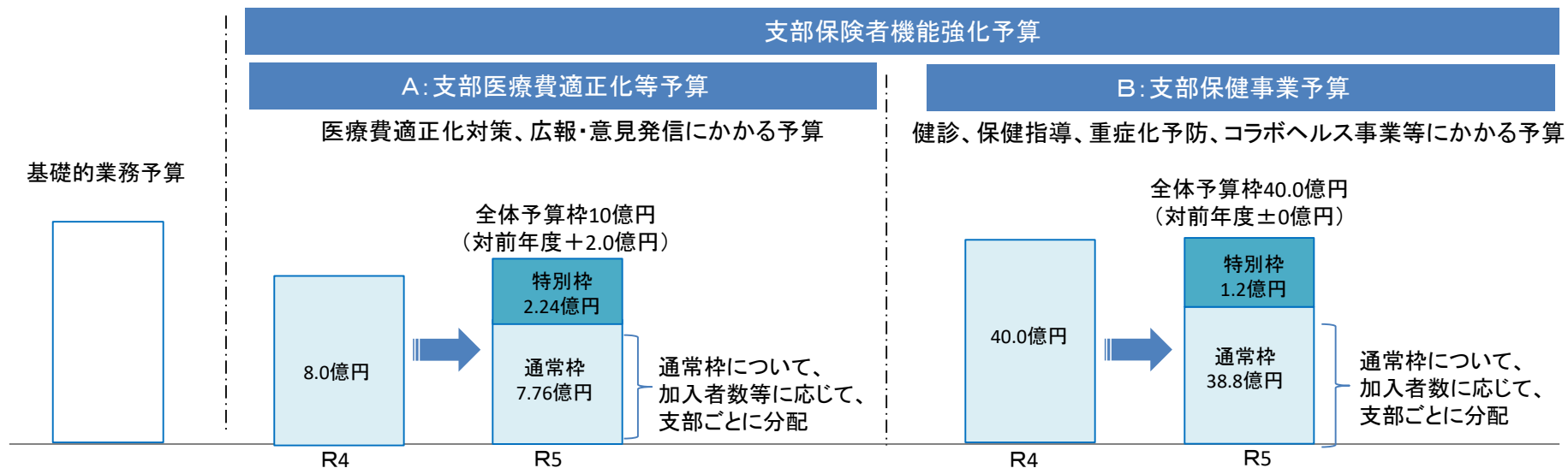
支部保険者機能強化予算の位置づけ



令和5年度からの予算体系

令和5年度支部保険者機能強化予算に「特別枠」を新設。

エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組に意欲的な支部に対し、予算の「通常枠」に追加して予算措置をする。



【 予 算 枠 】

支部医費適正化等予算		支部保健事業経費	
通常枠 予算枠	特別枠 予算枠 (基準額) ※	通常枠 予算枠	特別枠 予算枠 (基準額) ※
14,588千円	3,600千円	67,892千円	16,790千円

※特別枠（基準額）は目安であり、基準額を超えての予算要求も可能。

【 要 求 額 】

支部医費適正化等予算		支部保健事業経費	
通常枠 要求額	特別枠 要求額	通常枠 要求額	特別枠 要求額
12,073千円	0円	67,889千円	10,202千円

予算要求額 内訳

【通常枠】

(千円)

分野	区分	事業・取組内容	支部要求案	【参考】 令和4年度	備考 (増減要因など)	
医療費適正化等予算	—	<p>【謎解きを活用した医療費適正化に関する啓発広報】</p> <p>医療費の節約につながるワードが答えとなる謎解きをwebに掲載し、閲覧者が事業理解を深める機会を設けることで、行動変容につなげる</p>	0	5,555		
		<p>【ジェネリック医薬品使用促進の広報】</p> <p>マイナンバーカードの保険証利用が普及すると、従来の「ジェネリック使用希望シールを保険証に貼付」という意思表示ができなくなる。そこで、ジェネリック医薬品の使用を啓発するプリントを施した診察券とマイナンバーカードの収納ケース5,000枚を作成し・配布する。</p>	2,376	—		
	通常枠	医療費適正化対策予算（通常枠） 計		2,376	5,555	
		<p>【紙媒体による広報】</p> <p>毎月、日本年金機構から全事業所宛に送付される社会保険料の納入告知書（納付書）に同封するチラシ等の印刷</p>	4,248	3,964	・チラシ形態見直し	
		<p>【広報媒体を活用した福島支部事業および保険料率の周知広報】</p> <p>インセンティブ制度および翌年度の健康保険料率について、加入者・事業主へ周知するため、地方新聞の記事下広告（年4回）および商工会議所会報誌へのチラシ折込（県内6か所×1回）を実施。</p>	5,449	5,487		
		広報・意見発信（通常枠） 計		9,697	9,451	
		医療費適正化等予算（通常枠） 合計		12,073	15,006	

予算要求額 内訳

(千円)

分野	区分	事業・取組内容	支部要求案	【参考】 令和4年度	備考 (増減要因など)		
保健事業経費予算	通常枠	継続	①健診実施機関実地指導旅費（健診機関を訪問し、事務の実地確認・指導）	213	140		
		継続	②事業者健診結果の取得（外部委託による事業所への勧奨・紙媒体データ化）	18,761	11,477	目標値上昇に伴う	
		継続	③集団健診（出張0円健診に係る案内・オプション健診機器レンタル費用）	5,229	5,284		
		継続	④健診推進経費（事業者健診データを早期提供した健診機関への報奨金）	2,852	4,085	R4実績に基づき算出	
		継続	⑤受診勧奨等経費（県南・相双地区での集団健診の開催、各種案内の作成）	6,913	9,484	R5～案内物の一部 支部から本部作成に	
			健診経費（通常枠） 計	33,968	30,470		
		通常枠	継続	⑥中間評価時の血液検査費（保健指導の継続支援中での血液検査費用）	5,280	3,960	R4実績に基づき算出
	継続		⑦顧問医師への謝金	154	154		
	新規		⑧保健指導等データ等送料（在宅保健師との書類受け渡しの送料）	1,005	—	書類引き渡し方法の見直しによる	
	継続		⑨保健指導用パンフレット作成等経費	660	670		
	継続		⑩保健指導用事務用品費（血圧計などの測定機器の購入）	300	197		
	継続		⑪保健指導用図書購入費	70	50		
	継続		⑫公民館等における特定保健指導（会場使用料）	170	60		
	継続		⑬保健指導推進経費（実績が前年度を上回った等、健診機関への報奨金）	2,110	1,058	目標値上昇に伴う	
継続	⑭保健指導利用勧奨経費		1,206	1,531			
		保健指導経費（通常枠） 計	10,955	7,680			

予算要求額 内訳

(千円)

		区分	事業・取組内容	支部要求案	【参考】 令和4年度	備考 (増減要因など)
保健事業経費予算		継続	⑮未治療者受診勧奨 事業所による未治療者の受診勧奨を促すチラシ作成、保健師が事業所訪問時に配付・説明	250	119	
		継続	⑯糖尿病性腎症患者の重症化予防対策 福島市医師会と連携した支部保健師による保健指導	220	220	
		継続	⑰健診機関による健診結果通知に同封する受診勧奨チラシの作成	668	533	
		重症化予防事業経費（通常枠） 計			1,138	872
	通常枠	継続	⑱取組支援 健康事業所宣言の広報、ふくしま経営優良事業所認定アンケート作成・データ化	5,456	6,162	
		継続	⑲取組支援 出前講座・健康測定機器の貸し出しなどのサポート事業	12,018	12,625	
		廃止	⑳Webセミナーの開催	0	495	
		継続	㉑情報提供ツール 事業所ごとの健康状態をまとめた健康度レポートの送付等	1,193	1,889	
	コラボヘルス事業経費（通常枠） 計			18,667	21,172	

予算要求額 内訳

(千円)

分野	区分	事業・取組内容	支部要求案	【参考】 令和4年度	備考 (増減要因など)	
保健事業経費予算	通常枠	継続	②LINE公式アカウントを活用した情報配信 健診（指導）日程・会場や健康情報を中心に、直接加入者へ情報発信	1,896	1,480	
		継続	③オーダーメイド通知書の発送 健康課題の多い地区を対象に、行動変容（医療機関受診・生活習慣改善等）を促す通知書を作成する。内容については、健診結果等に基づく個別性の高いものとする。	0	7,227	→特別枠で計上
		継続	④小学校における健康教室 小学生を対象とした健康教室に使用するテキスト作成費用	1,265	528	
		廃止	⑤保健事業計画アドバイザー経費	0	146	
		その他の経費（通常枠） 計			3,161	9,381
保健事業経費予算（通常枠） 合計			67,889	69,574 ※		

※端数処理により合計が合わない

【特別枠】

(千円)

分野	事業・取組内容	支部要求案												
医療費適正化等予算 特別枠	<p>【保健指導対象者の自発的な取り組みを促す情報発信】</p> <p>福島支部の被保険者の特定保健指導対象者数は年々増加傾向であるが、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響もあって、初回面談の実施割合は減少傾向にある。</p> <table border="1" data-bbox="341 428 1549 599"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定保健指導対象者数</td> <td>35,043人</td> <td>37,641人</td> <td>38,663人</td> </tr> <tr> <td>初回面談実施率</td> <td>33.7% (11,818人)</td> <td>32.3% (12,141人)</td> <td>31.0% (11,978人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>健診日当日の初回面談の推進等により実施率を上げる取り組みを行っているが、中長期で見た場合、特定保健指導の対象となる者自体の減少が必要であり、加入者の行動変容を促す取り組みが重要と考える。</p> <p>年に一度の健診受診を行動変容の契機と捉え、特定保健指導の基準の一つである腹囲が基準値をわずかに外れている者に対し、健診受診前に行動変容を促すDMを送付する。</p>		R1	R2	R3	特定保健指導対象者数	35,043人	37,641人	38,663人	初回面談実施率	33.7% (11,818人)	32.3% (12,141人)	31.0% (11,978人)	4,223
		R1	R2	R3										
特定保健指導対象者数	35,043人	37,641人	38,663人											
初回面談実施率	33.7% (11,818人)	32.3% (12,141人)	31.0% (11,978人)											
<p>【健康課題多い者に対する行動変容を促す通知書の発送】</p> <p>福島支部加入者の健康度は全体的に悪い状態であり、とりわけ「血圧」「メタボ」「喫煙者」のリスク保有率が、全国平均を大きく上回っている。</p> <p>福島県版健康データベース（FDB）の分析結果による居住区域・性別に合わせた健康課題および協会けんぽの分析による業態ごとの健康課題をもとに、対象者を絞り、健診結果および保有リスクとその改善策が掲載された個別性の高い通知を行うことで、行動変容を促す。</p> <p>対象者①特定保健指導の対象とならない38～39歳の生活習慣病予防健診受診者中、健康課題が多い者。 対象者②健康度が低い総合工事業の加入者。業界団体と連携し、連名文書の同封等を検討する。</p>	5,979													
保健事業経費予算（特別枠） 合計		10,202												